

10月28日

戦旗社

東京都文京区湯島
2丁目3の3
(加藤ビル内)

戦旗

号外

大阪支局
福島区藤州上3-3
(土真ビル) (458)0235
京都支局
左京区下鴨宮崎町
128-29 (70)0025

11/12佐藤訪米阻止・70年安保粉砕、 11/3全関西決起集会に結集しよう

11/3 集会実行委員会
共産主義者同盟
社会主義学生同盟

10月羽田斗争は、今日から70年にかけての階級斗争の様相を明らかにした。実力阻止部隊の登場とスルジョアジの恐怖に満ちた対峙、それとともに革命的左翼内部での日和見主義の発生、左翼戦線全体の再編成が進んでいる。われわれは今こそ10月斗争の切り崩した地歩をかため、11/12佐藤訪米実力阻止斗争を闘うことによって一足踏みなければならぬ。11/3決起集会に結集し、11/12斗争を女に闘い抜こう。

11/12斗争の現状

10月斗争は佐藤訪米阻止をめざした闘いであり、ベトナム人民の闘いと結合していた。それは国際階級斗争の一環であると云い、その闘いのなかで発揮されたラディカルズムによつて全世界のロシアリアリズムを激刺し、スルジョアジをふるまわがらせた。最近の国際階級斗争の特徴である急進主義の拍頭が「安定」を誇っていた日本にもあらわれたこと、この事実が日本の労働者階級を「安定」の幻想からとぎはなしつつある。だが10月の階級的意義にスルジョアジも極めて敏感であった。新聞によるプロパガンダ、破防は適用の調査、大量検捕が急進打ち出された。二つはスルジョアジの反撃に抗し、われわれの地歩を打ちかためたためた。11/12日の佐藤訪米を再展実力斗争をもって阻止する闘いにたち上ること以外にありえない。何故なら12日の斗争を放棄することは、10月斗争の否定であり、スルジョアジの反撃に屈服することと意味するからである。

これとては日本の労働者階級のこのスルジョアジへの警戒、11/12日斗争を闘うにせよという一歩を前進しない。総評・社会党は11月6日と12日を佐藤訪米阻止斗争道場に設定し、11/9統一行動、11/10田中ロビーする名の集会という方針を決定した。一寸全学連は社学同を主力に、11/9東京、11/10関西統一行動、11/12聖地斗争の方針を決定した。全国反戦は20日の会議で12斗争を要求することを確認している。(最終決定は11/12)

二つは現状のなかで幾々の任務は各地反戦で羽田斗争の討議を深め、大量の代表はけんを勝ちとることである。社会党、総評、反戦をつきあけると同時に、つきあげのみならず、独自で斗争を準備することである。

11/3 集米会の意義
総評・反戦は12斗争への態度を明らかにし、その重要性を二つに示している。1つは、下部組織の模範の連帯を強化することによって、独自の斗争力を強めることである。またはいかに困難であつてもこの作戦にた立ちこたくまねばならぬ。11/3集会をその結集点にしよう。

集米会(西方面)
日時 11月3日(土) 15時
場所 国民会館(西四)
議事 ①次の諸団体のあいさつを要請している。長船社研/日中反戦協会/阪神地区共産主義者協議会
②基調報告 佐伯 武
③次の各組織からの判報報告を要請している。北地区反戦/堺地区反戦/吹田地区反戦/尾崎反戦/京都反戦/豊通労研/電機社研/教組社研/学連連
④まとめ
⑤スローガン/集会宣言採択

11/12斗争への資金カンパの訴え
11/12斗争の先頭に立ちこける戦友は、その巨大な目標に打ち勝つための力を蓄積しつづけている。同盟を歴史的任務にたてる組織に求めすべく、また11/12斗争を保障すべく、その資金カンパを要請する。

11/12斗争への資金カンパの訴え
11/12斗争の先頭に立ちこける戦友は、その巨大な目標に打ち勝つための力を蓄積しつづけている。同盟を歴史的任務にたてる組織に求めすべく、また11/12斗争を保障すべく、その資金カンパを要請する。